

教科名	社 会 (歴史的分野) (公民的分野)	週時間数	4	学 年	3
使用教科書 及び 副教材 等	・ 中学校社会歴史的分野（日本文教出版） ・ 歴史の自主学習（新学社） ・ 中学校社会公民的分野（日本文教出版）・公民の学習（浜島書店）				
指導の重点	「思考力」 「学ぶ意欲」 「知識・技能」				
教科のねらい	社会科では、多面的・多角的な見方や考え方ができる学習の場として、生徒の、「思考力」と「学ぶ意欲」を育むことを目指して学習をしていきます。また、基礎的な知識を身につけるとともに、他国の文化や伝統を尊重できる国際人としての自覚を身につけることも目指していきます。				
授業の進め方	授業は教科書とワークを中心に進めていきます。学習する内容によっては、班別で学習することもあります。また、調べ学習として図書室や家庭での学習を求めることもあります。				
定期考査	授業で学習したことを中心に問題を出題しますが、観点別に問題を出題します。教科書の内容を覚えるだけではなく、資料を読み取る力、思考力、表現力も必要となります。				
学習方法	社会は覚えることが多くて苦手という人もいますが、誰でも一度に多くのことを覚えるのは難しいことです。何度も繰り返し学習することが大切になります。それと、「なぜそうなるのか」という疑問をもって学習することも大切にして下さい。問題集やワークを繰り返して学習することにより、基本的な知識を身につけることも大切です。				

評 価	観 点	評価規準	評価方法
	①知識・技能	・ 歴史上の人物、出来事、文化遺産などを通して、各時代の特色を理解するとともに、歴史の流れを意識して、その知識を身につけ、様々な資料を集め、情報を読み取り、図や表などにまとめることができる。 ・ 現代日本の社会の特色や、我が国の政治・経済・伝統と文化に関する様々な情報などを理解し、その知識を身に付け、図や表にまとめることができる。	定期テスト （知識・技能分野） 小テスト （知識分野） ノート （完成度）
	②思考・判断・表現	・ 歴史上の人物、出来事、文化遺産などを通して、各時代の特色や歴史の全体像について考え、それを適切に表現している。 ・ 日本社会の様々な問題点や課題が、政治・経済・国際関係に影響を与えていることについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できている。	定期テスト （思考・判断分野） 授業観察 （発言内容） 振り返り （内容・考察）
	③主体的に学習に取り組む態度	・ 歴史上の人物、出来事、文化遺産などを通して、各時代の特色に関心を持ち、歴史を意欲的に学ぼうとしている。 ・ 現代日本の社会にはどのような特色が見られるのか、伝統・文化がどのように継承、または変化しているかを意欲的に追及し、現代社会における様々な問題点や課題について、関心を持って取り組む姿勢が見られる。	授業観察 （忘れ物、挙手） 宿題・提出物 （達成率） パフォーマンス （調べ学習）

年間授業計画		
学期	分野	単 元
1	歴史的分野	第5編 第2章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と戦後の動き 2 大正デモクラシーの時代 3 世界恐慌と日本 4 第二次世界大戦と日本 第6編 現代の日本と世界 1 平和と民主化 2 冷戦下の世界と経済大国化する日本 3 グローバル化と日本の課題 第1編 私たちと現代社会 1 私たちが生きる現代社会の特色 2 現代社会の文化と私たち 3 現代社会の見方・考え方
2	公民的分野	第2編 第1章 個人の尊重と日本国憲法 1 法に基づく政治と日本国憲法 2 日本国憲法と基本的人権 3 日本の平和主義 第2編 第2章 国民主権と日本の政治 1 民主政治と政治参加 2 国の政治のしくみ 3 くらしを支える地方自治 第3編 私たちの生活と経済 1 経済のしくみと消費生活 2 生産の場としての企業 3 金融のしくみとお金の大切さ 4 財政と国民の福祉
3	公民的分野	第4編 私たちと国際社会 1 国家と国際社会 2 国際社会の課題と私たちの取り組み